



今年度も、いよいよ残りわずか！



旅立ちの春を迎え、日に日にあたたかさを感じています。子どもたちは、卒業式そして修了式を間近に控え、先生や友達とのふれあいの日々を大切に過ごしています。

本校では、この1年間、友情、根性、本城小をスローガンにくたくましい子ども、思いやりのある子ども、すすんで学習する子どもへの育成のために、より良い学校経営を目指して取り組んでまいりました。なかでも、市内の全小中高等学校と一緒に取り組んでいる「小中高一貫教育」では、総合的な学習の時間（くしま学）を中心に、児童生徒の学力向上やキャリア教育の充実、そして、串間市に貢献できる力を育成してきました。

御家庭では、この1年間のお子様の成長や頑張りを振り返っていただき、そして、6年生は中学生として、在校生は新しい学年に向けて、希望と意欲をもってスタートできますよう、御家庭での励ましをよろしくお願いたします。

最後になりましたが、この1年間、保護者の皆様の御理解と御協力に深甚より感謝申し上げます。これからも家庭や地域から信頼される学校づくりを目指して職員一丸となって取り組んでまいります。

< お別れ遠足 >

< 6年生とのふれあい給食 >

< 海洋教育 >



最初に、体育館で縦割り班でゲームをし、その後鬼塚いちご農園にイチゴつみ体験に行きました。今日は、弁当の日でもあったので、児童は、それぞれができる範囲の自作弁当を持ってきていました。天気も良く、外でみんなで食べる弁当は、楽しそうでした。

6年生は卒業式を間近に控え、在校生との「ふれあい給食」を行っています。下級生たちと一緒に給食を食べることももう最後になります。一つ一つの卒業関係イベントが、カウントダウンのように消化されていくことに複雑な心境のようです。

5年生は海洋教育の一環で、黒瀬水産にブリの養殖見学で大変お世話になりました。また、ホンダスーパーの若社長に解体ショーを見せていただき、そのあと、「本城小ぶりブリ井」を作りました。

< 成長した児童たち：卒業式練習より >

春の訪れとともに卒業式の練習が、どんどん進んでいきます。在校生も、卒業式を感動的なものにしようと、厳かな雰囲気づくりに一生懸命です。普段は、じっとしていない1、2年生も、卒業生のためにじっと我慢して、雰囲気づくりに一生懸命頑張っています。そんな在校生の姿を、卒業生は、昔の自分を思い出しながら、そして、成長した自分を再確認しながら、温かい眼差しで見ているようです。



< 7月の主な行事 >

--	--

